

いざという時、“助ける側”になるために…

救急救命講習を受け、「スクール救命士」に認定!

5月20日、2年生を対象に「スクール救命士」の授業を実施しました。これは北九州市消防局が行っている事業で、救急隊員による講習を実施することで、「スクール救命士」に認定されるものです。今回は黒崎分署から2名の方に来ていただき、救助の方法、手順、心肺蘇生の方法やAEDの使い方等を学びました。皆、救急隊員の方のお話しや説明を真剣に聞いていました。

皆さんは日頃から、安全に気を付けて生活をしていると思いますが、災害や事故は、いつ、どのように起こるかわかりません。何かあった時には、まず、**自分の命を守る**ことが最優先されますが、中学生になると、“**助ける側**”としての働きも期待されてきます。目の前に倒れている人がいたときに、自分に何ができるか、どうすることが必要なのを知っておくことはとても重要なのです。講習会では倒れている人への声のかけ方や皆で協力する対処法、運搬法等、役に立つ内容をたくさん聞くことができました。

今回、この講習を受けた皆さんには、後日「スクール救命士」の認定証が届きます。2年生の皆さん、お疲れさまでした。



ご指導ありがとうございました。

『校長文庫』を設置しています!

○職員室前に、『校長文庫』を設置しています。ここには、少しの時間でもパッと手に取って、スッと読めるような内容の本を中心に置いており、最近、少しずつですが、手に取ってくれる生徒が出てきました。読書に興味をもって、校長文庫から図書室へ足を運ぶ生徒が増えると嬉しいことです。北九州市からは「**身近に本 気軽に読書**」というポスターが配られています。時間を作って、気軽に読書に浸ってみませんか?



****先生が今日で教育実習終了です!

教育実習に来ていた家庭科の****(****)先生が、本日で3週間の**実習期間が終了**しました。お別れに皆さんへのメッセージを頂きました。

「3週間という短い期間でしたが、お世話になりました。最初は私にきちんとした授業ができるのかと不安でしたが、皆さんが熱心に授業を聞いてくれたため、毎日頑張ろうと思いながら学校に来ていました。この実習期間中に会った皆さんとの思い出は、これから先、生きていく中で、一生忘れることのない思い出の一つになりました。本当にありがとうございました。」 ****先生、頑張ってください。

「撥川ホテル祭り」
開会式で、エコ・
ガーデニング部
【善行賞】表彰!



5月21日(土)

校長室より 【挨拶】
「挨拶(あいさつ)」と言ふことはの意味について、「挨拶は開く」、「挨拶は迫る」という意味で、挨拶は**心を開いて相手に迫る**ものと言われます。挨拶は人が出会った時の【会話】の始まりです。ただことは言うだけではなく、心を開いて相手と近づく気持ちが大切なのです。そしてもう一つ、声や顔の「表情」も大切です。表情は内面からつくられるもの。心穏やかであれば、表情もそうなりますし、逆に元気がない朝も、たった一言、明るく「おはよう」というだけで、心が元気になることもあります。朝、眠そうに登校しているその君!思いっきりの笑顔で明るく挨拶してみてください。きっと【挨拶マジック】で元気になりますよ。(宮)